

がけはし

第 39 号



社協だより

平成 23 年 9 月 25 日発行



この社協だよりは、共同募金の配分を受けて作成しています。

ボランティアスクー^ル2011



▲ 7 月 24 日 昼食の配膳を行いました（春日デイサービスセンターにて）
< 関連記事は 5 ページ >

も く じ

- サロン紹介..... 2
- 福祉委員活動だより、行事だより 他 3
- 「かけ・ボラ」、脳トレコーナー 4～5
- 施設だより 他 6
- 赤い羽根共同募金のお願い 7
- おしらせ／予定など 8

本誌に対してのご意見・ご要望がございましたら、
下記までお寄せください。

編集・発行

社会福祉法人
揖斐川町社会福祉協議会

〒501-0603 岐阜県揖斐郡揖斐川町上南方 193 番地
TEL (0585)23-0411 FAX (0585)23-1678
<http://www.ibi-syakyou.jp/>
E-mail ik-syakyou@ip.mirai.ne.jp

サロン紹介

◆にこにこ会（揖斐川地区）◆

「極楽寺区では、平成15年に地域ぐるみで認知症予防に取り組むことを目的として、サロンが始まりました。以来、月に1回の割合で公民館に集まり、おしゃべりや活動を通して親睦と生きがいづくりを進めています。開催日時等は、毎月発行される地区の広報誌「極楽寺だより」を通じて各戸に案内しています。

このサロンは向学心を持った方が多く、もの作りや音楽、脳トシなどさまざまなことに挑戦しておられます。数年前からは干支（えと）の包み絵（くるみえ）作りを始め、毎年1つずつ作品を完成させています。十二支を揃えるのが皆さんの楽しみだそうです。

リーダーさんによる手作りのお菓子は大変好評で、心温まるもてなしが皆さんの笑顔に表れています。



▲音楽療法教室の様子

◆沙羅（春日地区）◆

沙羅は、美東の市瀬地区のサロンです。「地域住民がいきいきと仲良く暮らし、より良い仲間づくり」を目的に活動しています。

年間の主な活動内容は、サンマパーティー、しめ縄作り、味噌作りなどです。

土曜日や日曜日の昼から夕方にかけて、地域ぐるみで若い世代や子どもも一緒にやって行います。秋のサンマパーティーでは、男性の役割は炭の火を起こしてサンマを焼き、女性は、地元の野菜を使った料理をと大奮闘です。12月のしめ縄作りは、高齢者が講師として大活躍。1月の地元の味噌作りの味は大好評でした。7月には、防犯講話を聞いた後、竹を使って水ようかんを作って試食しました。



▲しめ縄作りの様子

これからも地域の特色を生かし楽しい交流を図れるよう、みんなで取り組んでいこうと考えています。



▲サンマパーティーの様子

◆健康体操にこにこサロン（久瀬地区）◆

健康体操にこにこサロンは、平成22年4月22日に「自分の健康は、自分で守ろう」という地域の方の熱い思いで立ち上がりました。講師は、いびがわチャンネルでおなじみの萬代須寿代先生です。「間違えても、いつもみんなの笑顔がいいね。」と先生に励まされながら、ストレッチ体操やバランスボールを使った体操にチャレンジしてみえます。

みんなでストレッチをして、心と体のリフレッシュをしませんか！毎月第2、4木曜日の午後7時30分～8時30分、久瀬公正公民館の2階で開催しています。随時、会員募集もしていますので、どこの地区からでもお越しください。参加費300円と汗拭きタオルをお持ちください。

【連絡先】

久瀬公正公民館
☎54-2502



▲健康体操をしている様子

福祉委員活動だより

6月22日（水）、第1回谷汲地区福祉委員会を開催し、揖斐川町福祉委員会の報告、平成23年度研修計画の検討、福祉連絡会についての説明、認知症についての研修を行いました。

参加された福祉委員の方から多くの意見をいただき、また、認知症についての研修では、「大変勉強になった。」「サロンでも行いたい。」と喜ばれ、充実した委員会となりました。

今後も福祉委員会を定期的に行い、福祉委員同士の情報共有や知識を深める場として開催していきたいと思えます。



▲谷汲保健センターにて

集まろまいか

「春日下ヶ流区福祉連絡会設立総会」

～みんなで話し合い、協力して、住みよい地域をつくろう！～

春日下ヶ流区では、区民が主体となっていつまでも安心して暮らせる福祉の地域づくりを推進するため、7月30日（土）、下ヶ流区福祉連絡会設立総会が開催されました。

設立にあたり、5月から準備委員会を立ち上げ、見守りの必要性や活動内容について話し合いをしてきました。

連絡会の構成員は区長、副区長、瀬古長、班長、民生児童委員、福祉委員、老人クラブ、子ども会、赤十字奉仕団、消防団、女性防火クラブ等、日ごろから地域の見守りや安全に関わる地域のリーダーの方々です。

総会では、定期的集まって情報を交換、共有することや、地域の見守り活動、ふれあいいきいきサロンの支援、地域の交流、災害時に弱者をみんなで支援することなどの活動内容が承認されました。今後の活動を期待します。



▲下ヶ流ふれあい館にて

赤い羽根文庫

（共同募金配分金事業）

揖斐川町内の幼児園、小、中、高等学校31校へ「赤い羽根文庫」として、希望されました書籍を贈呈しました。

多くの子どもたちに読んでいただけることを期待します。



「介護予防ボランティア養成講座」開催

（介護予防事業）

7月15日（金）、揖斐総合庁舎5階大会議室にて、講師に野口有美氏（清水在住）を依頼し、「畳のへりを使ってのソーજュ作り」を開催しました。畳のへりは堅い素材で、色や模様もさまざまでもきれいです。参加された皆さんは、真剣にへりを糸で縫いながら隣同士で教え合



▲講師の方に教えていただいています



▲隣同士で教え合っています

い、話も弾んでいました。完成した自分だけのパラのソーજ�は、皆さんの胸元に輝いていました。地域に戻りサロンなどで作り合ったり、ソーજ�を着けておしゃれに出かけてくださいね。

「かけ・ボラ」

社会福祉協議会では、ボランティアとボランティアを必要としている方を「かけはし（コーディネーター）」としています。

「東日本大震災の災害ボランティアへ参加された方の声です」

私は実家が茨城県日立市にあり、今回の震災は他人事とは思えず何かしたいという思いから、帰省の折に福島県いわき市にて参加させてもらいました。

活動の内容は、側溝の砂掻き出しを行いました。側溝の砂を土嚢袋に詰め、トラックに積んで運ぶという作業もありました。1時間毎の休憩も挟みながら、無理せずに活動することを心がけてもらえました。

活動を通じて、地域の方から「ありがとう」と労いの言葉をいただき、逆に自分たちが元気をいただけたような気がしました。参加させてもらって良かったなと思い、ボランティアは「何かしたい」という気持ちを「させていただける」機会だなと感じました。

「してあげる」のではなく、「させていただく」という心構えで、被災地の方の気持ちを優先するのが大事だと感じました。機会があれば、再度参加させていたただきたいと思います。
(40歳 男性)

一度は行ってみたいと思った東北。今回の未曾有の災害にテレビの報道に釘付けされ、自然の力に人間の弱さを痛感しました。

これまで生きてこれて、私にできることがあるのならの思いに、新聞の東日本大震災ボランティアの募集に不思議な縁をいただき、娘と2人、3泊4日の予定で東北へと向かうことになりました。

現地での光景は、テレビの報道の被害、凄さそのものに唾然とするばかりでした。1日目の作業は、七ヶ浜の清掃でした。美しかったはずの海、その砂浜の瓦礫の撤去でした。土嚢袋に詰め次々と運びました。2日目は石巻でした。ここでも側溝の瓦礫を詰めて運びました。海のすぐそばに、人家や地域があったことでしょう。家、家族、地域を奪ってしまった海。多くの命を飲み込んでしまった海。その光景にただただ涙がほほを伝うばかりでした。

今回のボランティアは、今の私の幸福がどれほど大きくそして人のつながりに守られ生活できることが、ただ感謝したボランティア活動になりました。

(森田八重氏 63歳 女性)

7月11日〜18日まで、「東日本大震災」における支援活動に岩手県大槌町へ行ってきました。活動内容は、災害ボランティアセンターの支援でした。震災から4ヶ月たった現状は、想像を絶する惨状でした。それでも、現地の方から「かなりきれいになったんだよ。」と言われ、震災直後の状況は、考えられないくらい惨状であったのだと再認識させられました。

災害ボランティアセンターでは、瓦礫の除去といった活動は一段落し始めており、被災者の生活支援に関わっていくこうとする転換期でした。仮設住宅に転居された方も、地区によっては隣人が知らない人といった所も多く、今後、孤独死なども心配されるため、被災者のメンタルヘルスが重要であることを感じました。

大変な震災であったにも関わらず、現地の方は明るく活動、生活されており感動しました。8日間という短い期間でしたが、共に関わったものとして、今後の大槌町の復興に目が離せませんし、期待したいと思います。

(揖斐川町社協職員 松井卓哉)



被災地（大槌町）平成 23 年 5 月 18 日撮影



被災地（大槌町）平成 23 年 7 月 17 日撮影

ボランティアスクール2011

(ボランティア事業)

夏休み期間中、揖斐川町の中学生・高校生を対象に、町内15ヶ所の福祉施設などのご協力のもと、ボランティアスクールを開催しました。

本年度は7校133名の生徒たちがボランティアを体験し、仕事内容、施設での生活の流れ、人との関わり方などを学びました。

ボランティアを体験した生徒の声

- ボランティアスクールに参加してボランティアは嫌々「やらされるもの」ではなく、自分から「やる」ものだということが分かりました。相手の立場に立ってどんな支援が必要なのか見つけていくことが大切だと気付きました。
- 施設でのボランティアは働くだけではなく、高齢者の人々と触れ合うこともボランティアだと学びました。
- いつも高齢者とあまり会話をすることが少なかった私が、このボランティアをすることによって、心のあたたかさを感じ取ることができました。



▲お年寄りと楽しくお話をしています (揖斐川げんき村)



◀ 廃油を使って石鹸を作っています (授産所いづみ)

ご協力いただきました施設及び学校関係者の皆様にお礼申し上げます。

ボランティアに関する
問合せ先

揖斐川ボランティア市民活動支援センター(揖斐川町社会福祉協議会内)
TEL: (0585) 23-0411 FAX: (0585) 23-1678

脳トレコーナー



脳トレから寄せられた住民の声

毎号誌面を読むと、町内各地の福祉活動の様子がわかり、楽しみに読んでいます。(70代 男性)

町の社会福祉活動の状況が写真入りでよく分かるようにした誌面で、毎号読むたびに改めて「福祉」に対する意識を持つようにさせられます。特に、「かけ・ボラ」でのいろいろな方によるいろいろな活動や試みはステキな事ばかりですね。他にも「施設だより」のページでは、各地の施設での利用者の楽しく元気そうにしてみえる姿を見ていると、私も幸せな気持ちになります。そして、自分の父にも元気で長生きしてほしいと思います。(30代 女性)

これからも、揖斐川町をやさしい思いやりの心でいっぱいにするために、様々な福祉活動を通してがんばってください。(10代 女性)

10月から「赤い羽根共同募金運動」が始まりますが、まず地区の定例会で募金をし、町内のショッピングセンターで募金運動が行われていたら、ぜひ協力したいと思います。一人一人の小さな気持ちもみんなで「たすけあいの心」をもてば、大きな力になるので、誰もが積極的に参加していけるといいですね。(40代 女性)

認知症予防等のための「脳のトレーニング」タイズです。

正解者の中から抽選で5名様に、図書カードをプレゼントします。

●応募要項

ハガキに答え・住所・氏名・年齢をご記入の上、下記までご応募ください。また、社会福祉協議会に対するご意見、ご希望もあわせてお寄せください。

●応募先

〒501-0603 揖斐川町上南方193番地
揖斐川町社会福祉協議会 地域福祉係

●応募期間

平成23年9月26日(月)～平成23年10月7日(金)必着
※発表は、図書カードの発送をもってかえさせていただきます。
※先月号の答えは…『テニス』

～なぞなぞ～
何と読むでしょう？

(け)

施設だより

春日 デイサービスセンター

『納涼祭り』

春日デイサービスセンターでは、8月1日(月)～6日(土)に恒例の流しそうめんを行いました。

本物の竹から流れてくるそうめんを薬味の入ったつゆで食され、「こりや美味しい!」との声があちらこちらで飛び交い、利用者、スタッフと



共に夏の風物を楽しむことができました。



坂内デイサービスセンターもみの木

『夏まつり』

坂内デイサービスセンターもみの木では、8月25日(木)に恒例の夏まつりを行いました。

今年も、坂内地域で舞踊をやってみえる山ぶき会の方に参加していただき、手作りのやぐらを囲みながら盆踊りを楽しみました。



利用者も浴衣を着ていっぴくなく笑顔がこぼれ、おやつを囲んでの交流会では話もはずんで、とても有意義な時間を過ごす事が出来ました。



11月11日は「介護の日」

「介護」について、皆さんは考えたことがありますか。高齢化が進み、生活習慣病などの病気も増えている中、親や配偶者など家族の介護をする人が増えています。今、介護をしていない人も、いつか、家族の介護をする立場になったり、介護を受ける立場になったりするかもしれません。介護は、だれにとっても身近な問題なのです。

11月11日は「介護の日」。それぞれの立場で「介護」について考えてみませんか。

「11月11日」を「介護の日」とする理由は、意見公募を行った結果、最も支持の多かった名称と日にちとしました。また、「いい日、いい日、毎日、あったか介護ありがとう」を念頭に、「いい日、いい日」にかけた、覚えやすく、親しみやすい語呂合わせとなっています。
(厚生労働省ホームページより)



赤い羽根共同募金運動がはじまります

～じぶんの町を良くするしくみ。～

【運動期間】 10月1日～12月31日



共同募金運動は、住民相互のたすけあいに支えられ65回目を迎えました。

今日の急速な少子・高齢化が進行するなかで、住民の社会福祉に対する意識も変化し、ボランティアや市民活動団体の活動に見られるように、住民みずからが主体的に多様な社会福祉の課題に果敢に取り組み試みがおこなえ、地域における民間社会福祉が新たな発展の時期を迎えています。このような状況のなかで、共同募金運動は、住民相互のたすけあいを基調とし、地域福祉の推進を目的として、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、多様な民間社会福祉活動を財源面から支援する役割を果たすことが求められています。

共同募金会は、共同募金という仕組みを、社会に継承していくべき重要な県民の財産である「公器」と自覚し、地域住民にとつて、わかりやすく透明性のある参加しやすい運営に努め、寄付の文化の発展を目指し、寄付者の意思を尊重した住民相互の「たすけあいの心」から行われる共同募金運動を積極的に推進するため、10月1日から共同募金運動を実施します。

皆様からお寄せいただいた募金は、岐阜県共同募金会を通じ、岐阜県内の民間社会福祉施設や社会福祉協議会に配分され、地域の福祉に役立てられます。この趣旨をご理解いただき、地域の皆様の共同募金へのご協力をお願いいたします。

さまざまな形で募金運動を実施します

- 戸別募金・・・自治会を通じて、世帯ごとにお願ひします。
- 法人募金・・・町内の企業や法人にお願ひします。
- 職域募金・・・町内の団体、官公庁などの職域で呼びかけ、募金運動を実施します。
- 街頭募金・・・町内のイベントや、店舗の前など街頭で募金運動を実施します。
- イベント募金・・・イベントにあわせて募金運動を実施します。
- 学校募金・・・町内の学校の児童・生徒に呼びかけ、募金運動を実施します。

今年も皆様のご協力をお願いいたします！

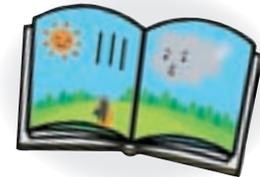
岐阜県共同募金会 揖斐川町分会（社会福祉法人揖斐川町社会福祉協議会）



「母子父子家庭等激励事業」 共同募金配分金事業



1. 対象者 町内在住で、次のいずれかに該当し、支援を希望される世帯の子ども（0～18歳）
①母子家庭等世帯の子ども ②父子家庭世帯の子ども
2. 支援内容 子ども1人あたり、3,000円分の図書カードを贈ります。
3. 申込方法 社会福祉協議会本部または各支所までお申込みください。
4. 申込締切 平成23年10月28日（金）
5. 配布 12月に配布する予定です。



※詳細は社会福祉協議会・地域福祉係（☎23-0411）までお尋ねください。



～編集後記～



介護の仕事について早いもので11年目を迎えました。10年間通い慣れた職場から今年4月に職場が変わり、慣れない環境の中と通勤時間も大きく違い自分の中での格闘がありました。それと重なり義母の突然の入院に、私の生活が一転。仕事に家事に病院と毎日がいっぱいでしたが、休みには義母の介護と今までにはない色々な話をゆっくりすることができ、仕事とは違った穏やかな気持ちになっている自分に気づきました。

2カ月という短い入院生活で、義母が最後まで「笑顔」で過ごしてくれた事が、私にとっては何よりの貴重な時間だったのかもしれませんが。「笑顔」何よりの癒しです。そして、もう一つ義母は、「人を頼る事も大切だ」と自分で何もかも抱え込まなくて良いんだと私に気づかせてくれました。自分の周りにこれだけ多くの人が支えになってくれていたんだと実感しました。義母は亡くなりましたが、この事があって何か私の中で吹っ切れたのか、今の職場にもようやく慣れて、毎日楽しく仕事をしています。

これからも「笑顔」を忘れず、「少しでも誰かの支えになれば」とこんな事を考えながら日々過ごしたいです。

～あたたかいところ～

こころあたたまる寄付をいただき
誠にありがとうございました。

★松井親夫 様（谷汲）…………… 10,000円

【平成23年7月1日から8月31日まで】

10月・11月の予定

- 10月7日（金）給食サービス（揖斐川）
- 11日（火）給食サービス（久瀬・藤橋）
- 11日（火）～14日（金）ミニ運動会（谷汲デイサービスセンター）
- 11日（火）～21日（金）お楽しみ会（春日デイサービスセンター）
- 13日（木）給食サービス（坂内）
- 19日（水）給食サービス（谷汲）
- 20日（木）ミニ運動会（坂内デイサービスセンター）
- 21日（金）給食サービス（春日）
- 11月8日（火）給食サービス（久瀬・藤橋）
- 9日（水）給食サービス（谷汲）
- 10日（木）給食サービス（揖斐川）
- // 給食サービス（坂内）
- 11日（金）園児との交流会（春日デイサービスセンター）
- 17日（木）園児との交流会（坂内デイサービスセンター）
- 18日（金）給食サービス（春日）



各支所電話番号

谷汲支所（谷汲保健センター内）	☎ 56-3700	久瀬支所（久瀬振興事務所内）	☎ 54-2288
谷汲デイサービスセンター	☎ 56-3630	藤橋支所（藤橋振興事務所内）	☎ 52-2111
シングルシルバーふれあいの家	☎ 56-3150	坂内支所・坂内デイサービスセンターもみの木	☎ 53-2662
春日支所・春日デイサービスセンター（かすがモリモリ村内）	☎ 58-0008	高齢者住宅「はなもも」	☎ 53-0007